

札幌積心会病院

陽子線治療

きょう開始

がんの陽子線治療の提供準備を進めていた、札幌積心会病院（札幌市東区）は、1日からがん患者への陽子線治療を開始する。同日付で国の先進医療として認められたため。陽子線治療が受けられる施設は、国内12カ所目、道内では北大病院に次いで2カ所目。

札幌積心会病院によると、陽子線治療の対象は、血液がんを除く大部分のがん。ただし、患者が治療を希望しても、他の治療法の方が適すると判断される場合や、先進医療の対象にならないケースもあり得る。



同病院は、2月から2カ月間は前立腺がん患者の治療に特化する。4月以降は、例えば肝臓がんや肺がんなど、前立腺以外の部位のがんへと治療対象を順次広げていく方針だ。治療は、外来通院で受けられる。陽子線の照射は1日1回。

1日からがん患者の治療を開始する、札幌積心会病院の陽子線治療センター（同病院提供）

照射回数や治療期間はがんによって異なる。回数から三十数回、2〜8週間程度になる。

陽子線治療費は照射回数にかかわらず一律290万円。この治療費は全額患者の自己負担だが、それ以外の診察、検査、投薬、入院などは保険診療（自己負担は1〜3割）となる。

同病院で陽子線治療を受けるには、医療機関か、患者・家族からの予約が必要。前者の場合は主治医に相談を。後者の患者らからの予約、相談や問い合わせは、同病院の専用ダイヤル☎011・712・1134（平日の午前9時〜午後5時）へ。（岩本進）